

multi- + lingual → multilingual 多言語の

### multi-

「複数」という意味をつける

semi- + circle → semicircle 半円

### semi-, hemi-

「半分」という意味をつける

sym- + pathy(感情) → sympathy 同情

co- + exist(存在) → coexist 共存する

まわりからいらしくに押し→圧縮する

com- + press → compress

「しっし」という意味をつける

### com-, co-, sym-

mis- + use(使用) → misuse(誤用)

mal- + nutrition(栄養不良) → malnutrition

bene- + fic(利益) → benefit(利益)

「良い」「悪い」「誤つ」という意味をつける

### bene-, mal-, mis-

### non-

否定・「～とは無縁」という意味を付ける

non- + sense(意味) → nonsense 無意味

non- + profit(利益) → nonprofit

無利益→非営利の

### over-, under-

「超える」「下回る」という意味を付ける

over- + flow(流れ) → overflow

流れを超える→あふれる

under- + estimate(見積もる) → underestimate

下回って見積もる→過小評価する

### fore-, out-, in-

「前に」「外に」「中に」という意味を付ける

fore- + cast(投げる) → forecast

(なにか起こる)前に投げる→予測する

fore- + head(頭) → forehead 頭の前→ひたい

out- + come(来る) → outcome

外に出るもの→結果

in- + come(来る) → income 中に来るもの→収入

de- + part → depart そこから離れる→出発する

dis- + able(できる) → disable 使用不能にする

「～から離れて」「分離」という意味をつける

### ab-, dis-, de-

\*両唇を閉じる音b, pの前では、in-はim-になる

in- + port(運ぶ) → import 内へ運ぶ→輸入する

ex- + port(運ぶ) → export 外へ運ぶ→輸出する

国の間で→国際的な

inter- + national(国の) → international

「間」「内側に向かって」「外側に向かって」

### inter-, in-, ex-

su(b)- + press(押す) → suppress

(人々や抵抗を)下に押し→鎮圧する

sub- + marine(海の) → submarine

海の下→潜水艦

de- + press(押す) → depress

(気持ちなどを)下に押し→落胆させる

「下に」「下の」「下回る」という意味を付ける

### de-, sub-, su-

### en-

動詞をつくる

en- + rich(豊かだ) → enrich(v.) 豊かにする

en- + courage(勇氣) → encourage(v.)

勇氣を作る→励ます、勇氣づける

en- + able(可能) → enable(v.) 可能にする

### in-, im-, il-

否定の意味を付ける

in- + correct(正しい) → incorrect 不正確な

im- + possible(可能な) → impossible 不可能な

il- + legal(法にかなっている) → illegal 不法な

### un-, dis-

否定・逆の意味を付ける

un- + tie(むすぶ) → untie むすぶの逆→ほどく

dis- + obey(従う) → disobey 従うの逆→逆らう

dis- + close(閉じる) → disclose

閉じるの反対→開く→公開する

ultra- + violet(紫) → ultraviolet(紫外線)

sur- + plus(足す) → surplus 更に足す→余剰

super- + man(人間) → superman 超人

「～を超える」という意味を付ける

### super-, sur-, ultra-

re- + collect(集める) → recollect

(記憶を)再び集める→思い出す

re- + form(形作る) → reform

再び形作る→改良する

post- + war(戦争) → postwar 戦後

「それ以後」「元へ」「再び」という意味を付ける

### post-, re-

pro- + motion(動作) → promotion

前に進む→促進・宣伝

pre- + position(場所) → preposition

(名詞の)前→前置詞

「前に進む」「それ以前の」という意味を付ける

### pre-, pro-



## Prefix Mini Book

### 接頭辞ミニブック

★接頭辞のきほん(^o^)  
・名詞・形容詞・副詞・動詞…につき  
その「意味」をかえるモノ  
・意味は接頭辞ごとに決まっており、  
語幹(語の基本的意味)について  
接頭辞の意味がプラスされる

uniform 制服、ユニフォーム monopoly 独占  
dual 二重の、共有の bicycle 自転車、自転車  
triangle 三角形 tetrapod フトボウフド(足が四本)  
pentagram 五芒星 octopus タコ  
decade 10年間 century 100年、1世紀  
millionaire 百万長者、大金持ち

1000	thousand	milli-	kilo-
100	hundred	centi-	ekato-
10	ten	decem-	deca-
9	nine	novem-	ennea-
8	eight	oct-	octo-
7	seven	septem-	hepta-
6	six	sexa-	hexa-
5	five	quinque-	penta-
4	four	quadri-	tetra-
3	three	tri-	tri-
2	two	du-	di-
1	one	uni-	mono-

ラテン語系・ギリシヤ語系の二通りがあります。

### 「数」にかかわる接頭辞

☆Septemberはなぜ「9月」なのに「7」をあらわす接頭辞 septem-を使っているの？

現在使われている12か月をもつこよみは「グレゴリオ暦」です。しかし古代ローマでは、「現在の3月に始まり、12月までの10か月で一年」「月を置かない約60日間を挟んでまた新しい年になる」という「ローマ歴」が使われていました。つまり今の1月2月に当たるところに、もともと月がなかったのです。(こよみはいつ種をまきいつ収穫するか、農業に使われていました。なので、農作物の育てられない冬に月の名前を付けても使わない、ということでしょう)

グレゴリオ暦が作られた時、その足りない部分に月を入れました。そのため、ローマ歴では「7番目の月」であったSeptemberは今の9月にずれたのです。

September 9月(ローマ歴では「7月」)  
October 10月(ローマ歴では「8月」)  
November 11月(ローマ歴では「9月」)  
December 12月(ローマ歴では「10月」)

